



お子様・ご家族の命、健康が一番大切です

5月18日より、分散登校が始まりました。4月10日から休校に入ってから、39日ぶりの生徒たちの登校。校舎の中では、生徒の笑い声や机や椅子を動かす音、階段を上り下りの音、保健室に来室し「元気だったよ!!」「ヒマだった!?!」「痩せた?」「太ったよ!」と久しぶりの生徒たちの声が新鮮で愛おしく聞こえました。まだまだ、本格的に学校生活に戻るには、いろいろな決め事があるようなので数ヶ月前(令和2年2月頃?)のような日常生活になるには落ち着きませんが、保護者の皆さまには、お子様の健康診断や様々な検診については、ご心配かと存じます。検査機関や学校医と相談しながら、できるだけ早急に検診等が再開できますよう進めて参りますので今しばらくお待ちください。検診日程等決定いたしましたらご連絡をいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

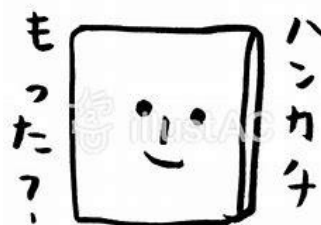
新型コロナウイルス感染拡大予防策で、下記のように「新しい生活様式」が取り入れられます。

- ① 人との身体的距離の確保 → 友だちや人と会話をするときには最低でも1メートル空けましょう
- ② マスクを着用 → 症状がなくても咳エチケットとして会話をするときには装着しましょう
- ③ 丁寧な手洗い → 手洗いは30秒かけ、流水で丁寧に洗いアルコール消毒も併用してください

学校生活でも、生徒へは「新しい生活様式」について、担任の先生より説明があります。

- 毎朝、登校する前には必ず「検温」をしましょう。
※検温をするのを忘れた場合は、学校保健室で検温できます。
- 友だち・先輩・後輩・もちろん各教科の先生方と会話するときは、最低でも1メートルの距離をおいてお話をしましょう
- 3密(密閉・密集・密接)しない、させない
- 登校したら、石けんを使って丁寧に手洗いをしましょう

※先日、ある学年の手洗いの様子を見にいきました。せっかく、きれいに洗った手をジーンズで拭こうとしている生徒を発見!!



家を出るときに
一声「ハンカチ持った?!」



次亜塩素酸ナトリウム液消毒について

学校では、生徒が完全下校後「次亜塩素酸ナトリウム液」を使用して消毒清掃を行っています。

例えば

- 生徒用机・椅子
- 階段の手すり
- トイレの出入り口ノブ
- すべての蛇口
- 教室の照明器具用のスイッチ版
- トイレ男子用（プッシュ式押しボタン部分）
- トイレ女子用（レバー部分・汚物入れ容器等）
- パソコンの授業が開始したら、パソコン用キーボード・マウス等

新型コロナウイルス消毒の希釈方法

新型コロナウイルス対策で、調理器具、トイレのドアノブ、便座、衣類等を消毒する場合は、約 0.05 パーセント濃度の希釈液を使用します。（図は市販の原液濃度 5 パーセントの塩素系漂白剤を使用したときの目安です）



原液濃度が 5 パーセントから 6 パーセントの塩素系漂白剤を使用する場合は、500 ミリリットルのペットボトル 1 本の水に、5 ミリリットル（ペットボトルのキャップ 1 杯）の塩素系漂白剤を入れます。

使用するときの注意事項

- 手指の消毒には絶対に使用しないでください。
- 使用する際は十分に換気してください。
- 有害ガスが発生するため、酸性のものと混ぜて使用しないでください。
- 汚れが残ったまま使用すると効果が弱まります。できるだけ汚れを落としてから使用してください。
- 漂白作用があります。容器の使用上の注意を確認してください。
- 商品により塩素濃度が異なるので表示などを確認してください。

保管するときの注意事項

- 希釈したものは時間が経つと効果が減っていくので、その都度使い切りましょう。
- 希釈したものをペットボトルで保管するときは、誤飲しないよう、容器に目立つように薬品名や濃度を記入しておきましょう。
- 原液、希釈液ともに、**アルミホイルなどで包んで光を遮り、直射日光の当たらない場所で保管しましょう。**
- 危険なので、子どもの手の届かないところに保管しましょう